

創立141周年



学校だより

は え

# 南風の子

中種子町立  
南界小学校

平成26年12月10日(水)発行

## 自己評価，他者評価で成長の確認を

校長 岡留 祐宏

この2学期は、子どもたちの成長した姿をたくさん見ることができました。継続して取り組んだことは、やはり成果をもたらすことを実感しました。

2学期の学習のまとめとして、これまでに学習した内容を点検し、基礎的基本的な事項の確実な定着を目指したいと思います。「自分はできない」とか「これは嫌だな」といった受けとめ方ではなく、「これはわかる。これはできる」という自信や「もっとこれができるようにする」という問題意識や意欲を持てるように働きかけていきたいと思っています。残り2週間、努力や伸びを誉め、課題克服の再指導に努めますので、ご家庭でも、復習や苦手克服への声かけをお願いします。

また、生活面ではどうでしょうか。「早寝早起き朝ご飯」や生活リズムなどの生活習慣，時間を守る，物を大切にする，服装を整える，忘れ物をしないなど学校生活とも関わる習慣，あいさつや礼儀，周囲の人とのかかわりや自分の役割を果たすなどの集団生活に関する習慣など，学校や家庭で両方で身に付けさせていきたい習慣です。

さらに，心の面についてはどうでしょうか。身体の成長のように目には見えませんが，相手の気持ちを察したり，自分の行動を律したり，自分の考えを穏やかにきちんと伝えたりする行動を通して，子どもたちの心の成長を感じることができます。

学期末の学校評価として，子ども自身の自己評価，保護者や職員による学校評価（子ども評価含む）を通して成果と課題について，三者で考える機会にしたいと思います。



児童集会（図書委員会発表）

### 人権旬間を通して

4日に行った「人権集会」では，子どもたちが自分の体験をもとにして，人権について考えたことを発表してくれました。1年生が発表してくれた「チクチク言葉」と「ふわふわ言葉」は，それを言われる立場で聞くと，言葉が人の心に与えるプラス・マイナスの強い力を感じます。2年生以上では，人にされて嫌だったこと，人を傷つけてしまったこと，自分の気持ちを伝えることができほったことなどの体験を話してくれました。友だちとの関係を通して何を大切にしなければならないかについてしっかり考えていると感じました。子どもたちが感じた「大切にすべきこと」が「人権って何」の答えだろうと思います。友だちへの関わり方に少し変化が見られたとの話を職員から聞き，嬉しく思いました。中種子町の啓発チラシも配付されたようです。ご家庭でも話題にいただければと思います。



### はやぶさ2の旅立ちに

3日，H2A26号機が打ち上げられた。オレンジ色の強い光を放ち，白い航跡を高く伸ばしながら轟音を残して空に吸い込まれていく姿を，学校の運動場で子どもたちと皆で見送った。小惑星を探索して6年後に地球に還る壮大な計画のスタートに遭遇でき，感激した。

子どもたちにとっては，歴史上の偉大な人物や美しい自然や芸術に触れたり，世界や人間の素晴らしさを体感したりすることは，素直に人間を肯定する心を養い，自分の人生を支える力になるだろうと思う。予定通りであれば，東京オリンピック開催の2020年末に帰還すること。はやぶさ2とともに，子どもたちのこれからが前途洋々であることを願っている。





### **南界小学校の子どもたちのよい面と 課題は・・・**

来年度の教育計画作成のため、道徳教育アンケートをお願いしています。  
子どもたちの実態を踏まえて、重点と思われ

「より良い関係を築くために大切な気持ちや考え方」について学びました。